

# 耐震診断受診者への 今後の住生活に関するアンケート調査結果

平成17年1月1日～平成20年11月30日に木耐協の耐震診断を受診された32,278件のうちホームページからの診断依頼だった方を対象に、今後の住環境に関する意識調査のアンケート依頼を送付し、443件の回答が得られました。

## <アンケート概要>

送付数：1,536件（平成17年1月1日～平成20年11月30日に木耐協で耐震診断を受診された32,278件からホームページから申し込みのあった方2,060件へメールを送付し、1536件が有効となる）

アンケート実施時期：平成20年12月1日～平成20年12月10日

アンケート方法：インターネット調査

回答数：443件（アンケート回答率 21.50%）

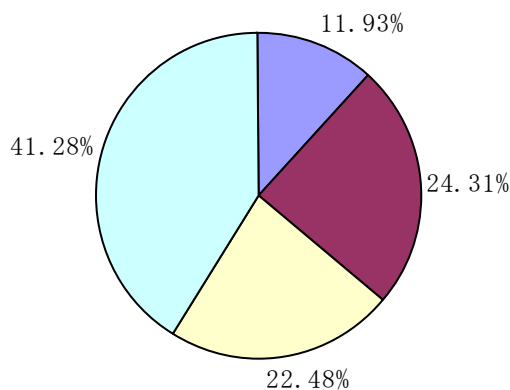
## ■ 耐震診断結果（アンケート回答者）

（平成17年1月1日～平成20年11月30日）

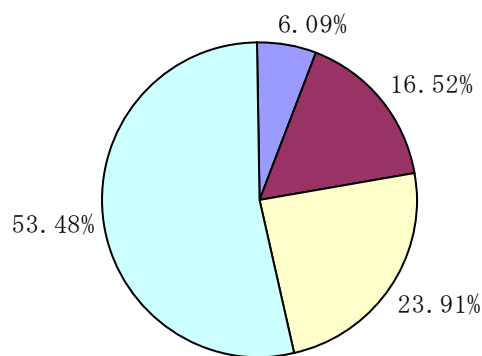
評点	旧診断（平成17年1月～平成18年3月）			新診断（平成18年4月～平成20年11月）				
		件数	%	平均築年数		件数	%	平均築年数
1.5以上	安全です	26	11.93%	17.73年	倒壊しない	14	6.09%	17.14年
1.0～1.5未満	一応安全です	53	24.31%	19.11年	一応倒壊しない	38	16.52%	17.53年
0.7～1.0未満	危険です	49	22.48%	22.33年	倒壊する可能性がある	55	23.91%	23.85年
0.7未満	倒壊または大破壊の危険あり	90	41.28%	26.81年	倒壊する可能性が高い	123	53.48%	26.86年
合計		218				230		
平均評点	0.86			0.75				
平均築年数	22.85年			24.01年				

平成16年7月に（財）日本建築防災協会から「木造住宅の耐震診断と補強方法」が発表されたことを受け、当組合では平成18年4月よりそれまでの「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」を基準としたものから耐震診断方法を変更いたしました。本ページでは「木造住宅の耐震精密診断と補強方法」を基準とした耐震診断を「旧診断」、「木造住宅の耐震診断と補強方法」を基準とした耐震診断を「新診断」として区別しています。

### ■ 旧診断による各評点の割合



### ■ 新診断による各評点の割合



■ 1.5以上 ■ 1.0～1.5未満 □ 0.7～1.0未満 □ 0.7未満

■ 1.5以上 ■ 1.0～1.5未満 □ 0.7～1.0未満 □ 0.7未満

※旧診断受診者へ新診断での再診断を案内しており、上記データには再診断受診者（重複受診者）5件を含みます。